



平成 18 年 10 月 16 日

各 位

株式会社ファルコバイオシステムズ
京都市中京区河原町通二条上る清水町 346 番地
代表取締役会長兼社長 赤澤 寛治
(コード番号: 4671 東証・大証各第一部)
問い合わせ先:
常務取締役経営企画本部長 安田 忠史
電話(075)257-8556

子会社株式評価損の計上並びに連結調整勘定一括償却に関するお知らせ

当社は、平成 18 年 10 月 16 日開催の取締役会において、保有する子会社株式に対し評価損の計上並びに連結調整勘定一括償却の実施を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 子会社株式評価損について

当社は、連結対象子会社である(株)ファルコバイオシステムズ九州他 10 社の子会社株式につきまして、各子会社の純資産が当社の子会社株式帳簿価額を下回っているものの、各子会社の業績が概ね当初の事業計画どおり順調に推移しており、子会社株式の価値が劣化していないという判断の下、従前、子会社株式評価損の計上を行っておりませんでした。急速に変化する事業環境のなか、医療総合サービス企業を目指す当社グループは、主力の臨床検査事業や調剤薬局事業が順調に事業拡大をしてまいりました。

しかしながら、今後、遺伝子検査事業、治験検査事業及びIT情報サービス事業等のよりスピーディーな事業展開を進める上で、事業分野別に子会社を再編する必要が生じてまいりました。この再編を実施する上で、本年 5 月に会社法が施行されたことに伴い、合併等の会計処理が、企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に沿って処理することとなります。

このため今後、事業再編による合併等が生じた場合、子会社株式帳簿価額と当該会社の純資産の差額を、特別損失として、合併時に処理する可能性が生じております。

以上のことなどを総合的に判断し、当社は、財務体質の健全性を保持するために、子会社株式評価損を、一括計上することといたしました。この評価損の計上により、単独で約 4,400 百万円を平成 18 年 9 月期に特別損失として計上いたします。

2. 連結調整勘定一括償却について

上記の子会社株式評価損の計上に伴い、平成 18 年 9 月期の連結決算において連結調整勘定を一括償却し、約 2,700 百万円を特別損失として併せて会計処理いたします。

3. 業績に与える影響

上記の特別損失の計上による業績への影響につきましては、本日別途発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」に織り込んでおります。

なお、各社別の子会社株式評価損と連結調整勘定一括償却の見込金額は、別紙明細のとおりであります。

以 上

子会社株式評価損並びに連結調整勘定一括償却額の明細（見込）

（金額：百万円）

子会社名	事業内容	単独	連結
		子会社株式評価損 （見込）	連結調整勘定償却額 （見込）
(株)ファルコバイオシステムズ九州	臨床検査の受託業務	540	170
(株)ファルコバイオシステムズ西日本	臨床検査の受託業務	200	-
(株)ファルコバイオシステムズ山陰	臨床検査の受託業務	250	100
(株)ファルコバイオシステムズ兵庫	臨床検査の受託業務	920	-
(株)ファルコバイオシステムズ福井	臨床検査の受託業務	80	10
(有)飛騨臨床検査センター	臨床検査の受託業務	110	120
(株)志太医研	臨床検査の受託業務	90	80
(株)東予中検	臨床検査の受託業務	140	110
チューリップ調剤(株)	調剤薬局の経営	1,150	1,200
(株)ファーマプロット	調剤薬局の経営	430	440
コスミック(株)	医療情報システムの 開発・販売	490	470
合計		4,400	2,700